

## 2008年のコンピュータウイルス届出状況

独立行政法人 情報処理推進機構（略称 IPA、理事長：西垣 浩司）は、2008年1～12月のコンピュータウイルス届出状況をまとめました。

### 1. 届出件数

2008年の年間届出件数は21,591件と、2007年の34,334件から大幅な減少となり、2005年の54,174件をピークに、減少傾向が続いています。大規模な感染拡大を引き起こす大量メール配信型のウイルスが出現していないことから、届出件数が減少しているものと推測されます。

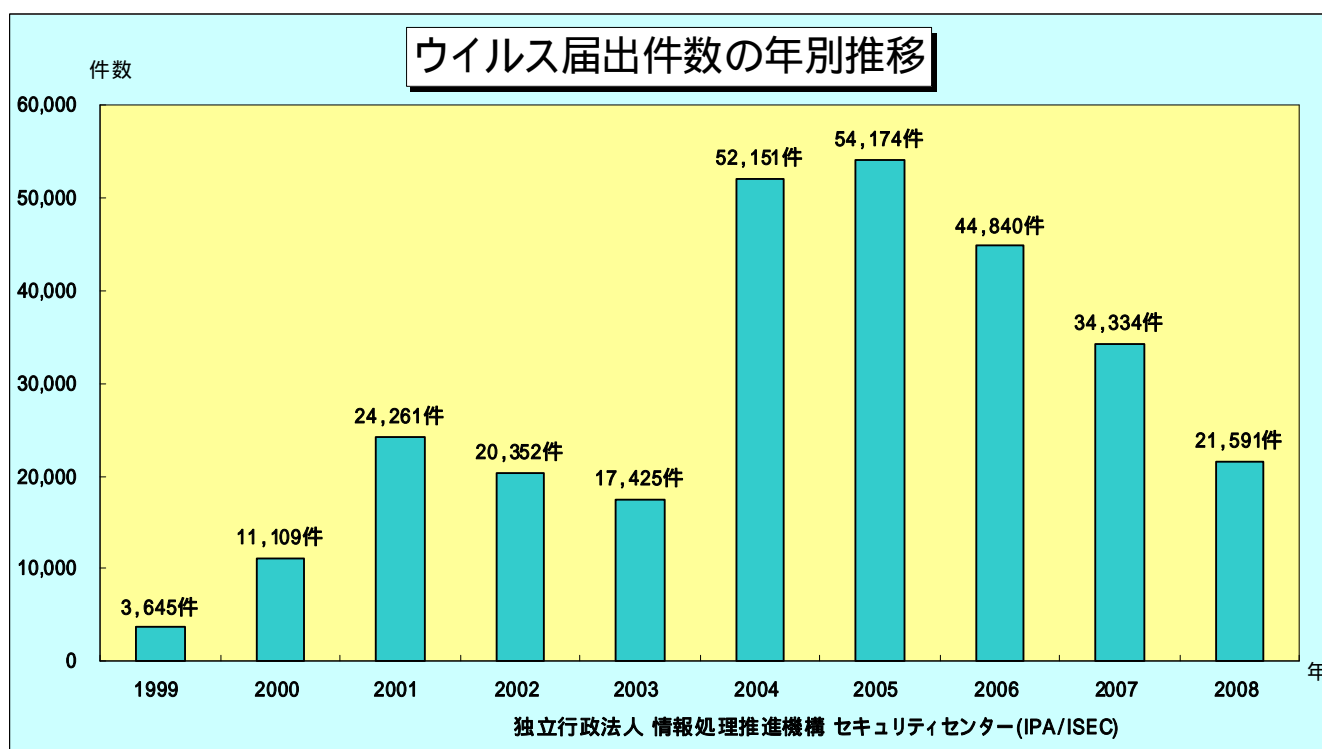


図 1-1：ウイルス届出件数の年別推移

### 2. 届出ウイルス

届出されたウイルスは136種類（2007年166種類）で、そのうち2008年に初めて届出されたウイルスは19種類（2007年46種類）でした。

届出ウイルスのうち、検出数の多い順は上から、**W32/Netsky**、**W32/Autorun**、**W32/Mytob**となっています。**W32/Netsky**は、2004年以降、毎年、最も多くの届出が寄せられています。また、**W32/Autorun**はUSBメモリを介して感染を拡大するウイルスで、2008年10月に急増しました。（図2-1参照）

届出ウイルスワースト 10 (検出数)

ウイルス名称	検出数	届出件数
W32/Netsky	2,331,291	4,867
W32/Autorun	190,248	1,223
W32/Mytob	58,081	1,704
W32/Mydoom	30,349	1,882
W32/Mywife	26,322	1,001
W32/Virut	17,329	1,222
W32/Mimail	12,467	499
W32/Klez	10,718	1,262
W32/Zafi	9,743	438
W32/Bagle	9,615	1,778
その他のウイルス	38,441	5,715
合計	2,734,604	21,591

備考：件数には亜種の届出を含む

ウイルス別検出数推移を見ると、**W32/Netsky** が継続して大きな割合を占めている状況となっています。その中で、2008年9月に**W32/Autorun**が増え始め、10月に急激に検出数が増加しました。その後、12月には減少しましたが、一時的にUSBメモリ感染型のウイルスが猛威を振るった状況となりました。

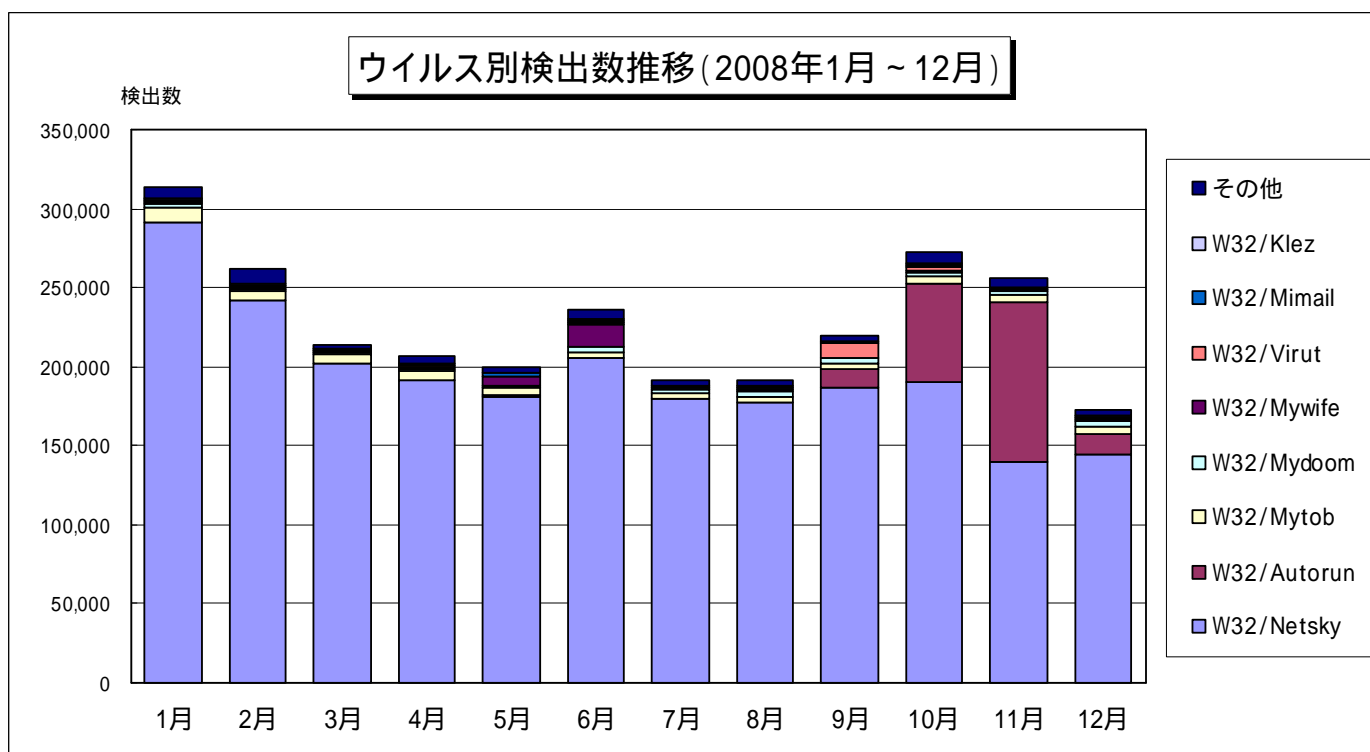


図 2-1：ウイルス別検出数の推移

ウイルス別届出件数推移を見ると、**W32/Netsky** が減少傾向ではあるものの、依然として、最も多くの届出が寄せられている状況が続いています。その他のウイルスも同水準での推移となっているものが多くありますが、**W32/Autorun** は増加傾向にあり、2008年10月にはW32/Netskyに次ぐ届出件数が寄せられるようになりました。

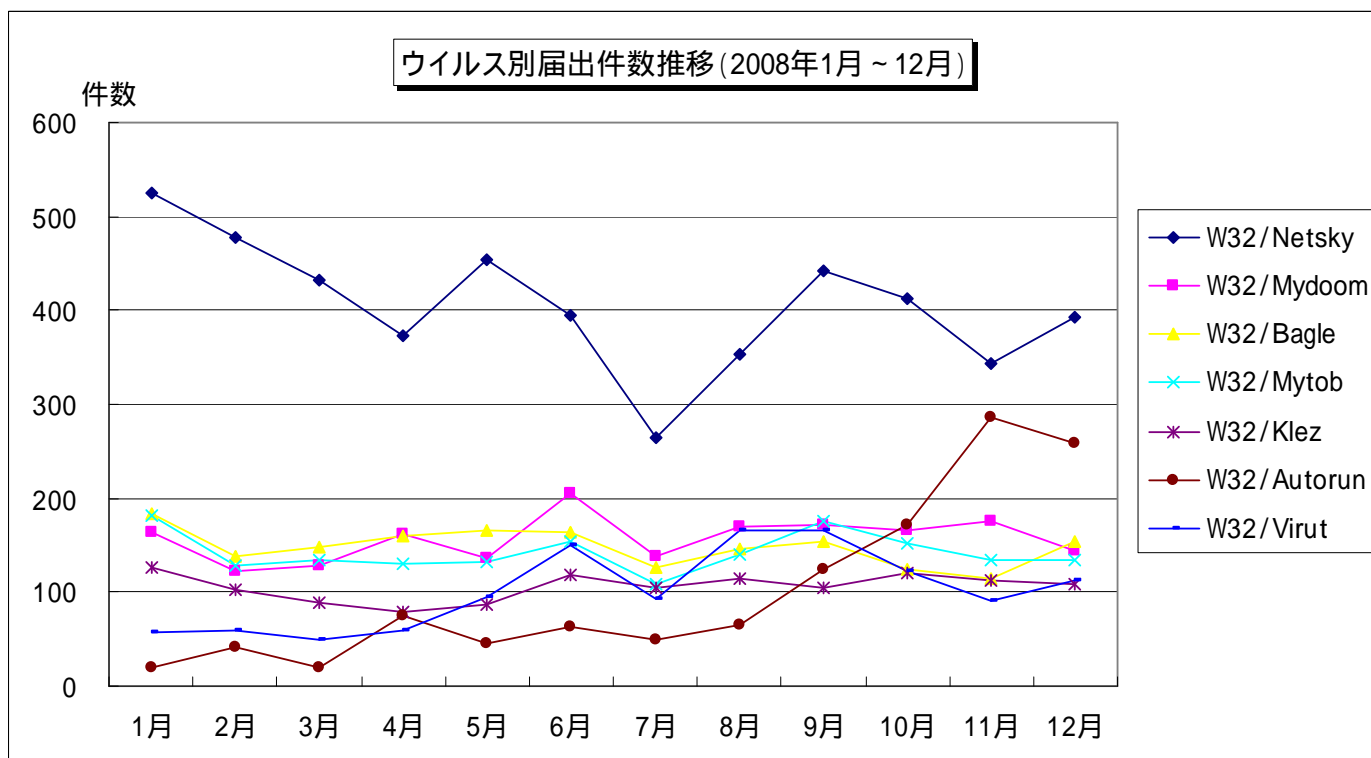


図 2-2：ウイルス別届出件数の推移

**お問い合わせ先**  
 独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター  
 花村 / 加賀谷 / 大浦  
 Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518  
 E-mail: [isec-info@ipa.go.jp](mailto:isec-info@ipa.go.jp)